

営業地区内お取引先企業の 景気動向調査レポート

[2022年10~12月期]

調査要領

- 調査時期 2022年12月上旬
 - 調査対象期間 2022年10月~12月期(第3四半期)実績
2023年1月~3月期(第4四半期)予想
 - 調査対象先 当金庫取引先 522先
 - 調査地域 (但陽信用金庫の営業店所在地域)
 - ①東播磨地域… 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - ②姫路地域… 姫路市
 - ③朝来・神崎・加西地域… 朝来市、神河町、市川町、福崎町、加西市
 - ④全営業地区… ①、②、③の合計
 - 業種別調査集計地域
 - A.東播磨地域… 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - B.姫路地域… 姫路市
 - C.全営業地区… 上記④と同様の地域
- ※朝来・神崎・加西地域は回答事業所数が少ないため、集計全体には含めていますが、地域別の集計は行っていません。

- 調査方法 渉外担当者による聞き取り調査
- 分析方法 D.I. による分析

※ D.I. (Diffusion Index)とは

「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数

■ 調査依頼先および回答状況

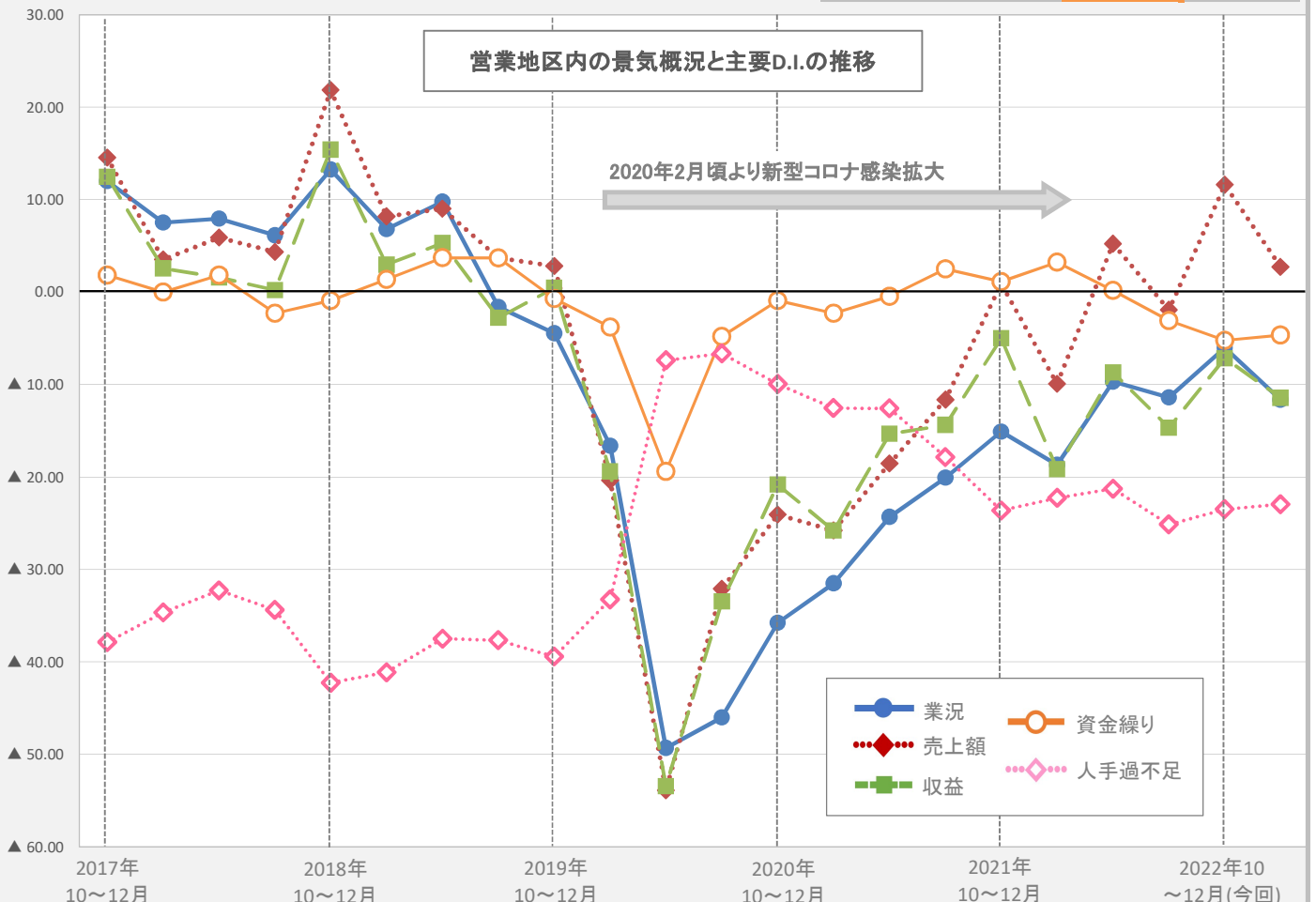
| | 依頼先数 | 回答数 | 回答率 |
|-------|------|-----|--------|
| 製造業 | 191 | 189 | 99.0% |
| サービス業 | 80 | 80 | 100.0% |
| 不動産業 | 30 | 30 | 100.0% |
| 小売業 | 68 | 67 | 98.5% |
| 卸売業 | 48 | 48 | 100.0% |
| 建設業 | 105 | 103 | 98.1% |
| 合計 | 522 | 517 | 99.0% |

今期の全地域・全業種における業況D.I.は▲6.01と前期から5.40ポイント改善、売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.についても改善しましたが、資金繰りD.I.のみ低下しています。来期は業況D.I.・売上額D.I.・収益D.I.が低下し、資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が若干改善する予想となっています。10月から開始された全国旅行支援、水際対策緩和によるインバウンド需要の増加や、コロナ感染第8波にありながらも行動制限が課されないなどの要因もあり、徐々にアフターコロナの生活様式への移行が期待されるのですが、資源価格上昇や日米金利差拡大を受けた円安による物価の上昇、コロナ融資の返済開始等が重荷と受けとめられているようです。

| D.I. | 2022年7~9月期 | 2022年10~12月期(今回) | 2023年1~3月期(予想) |
|-------|------------|------------------|----------------|
| 業況 | ▲ 11.41 | ▲ 6.01 | ▲ 11.63 |
| 売上額 | ▲ 1.93 | 11.61 | 2.71 |
| 収益 | ▲ 14.67 | ▲ 7.16 | ▲ 11.43 |
| 資金繰り | ▲ 3.09 | ▲ 5.22 | ▲ 4.64 |
| 人手過不足 | ▲ 25.15 | ▲ 23.50 | ▲ 22.96 |

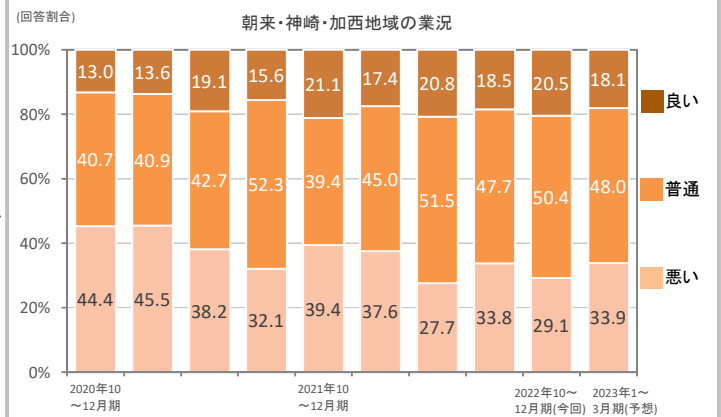
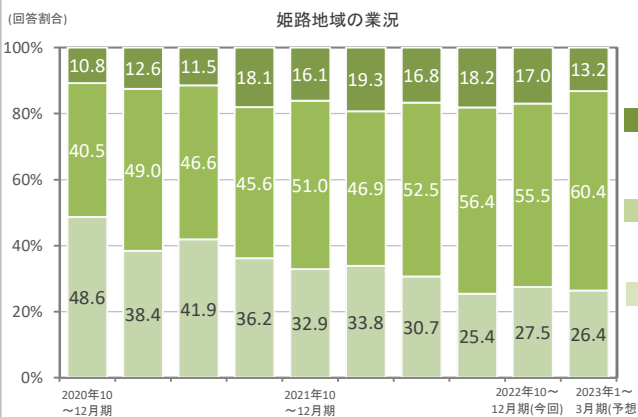
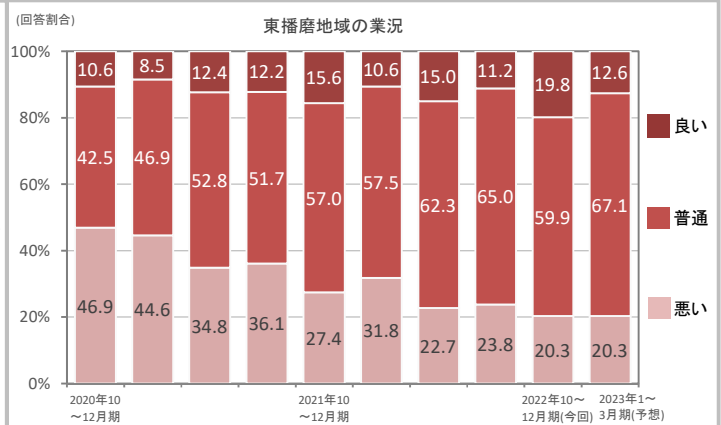
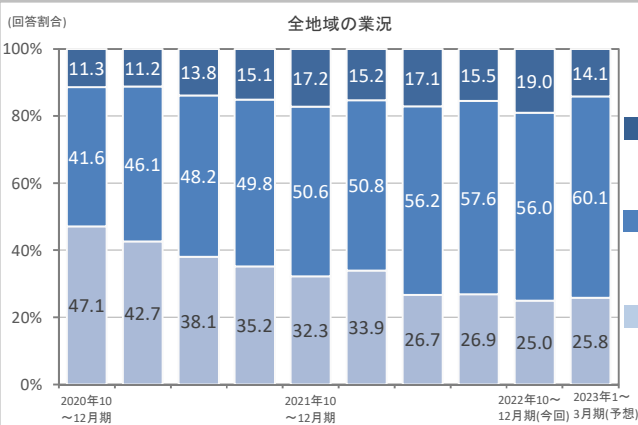
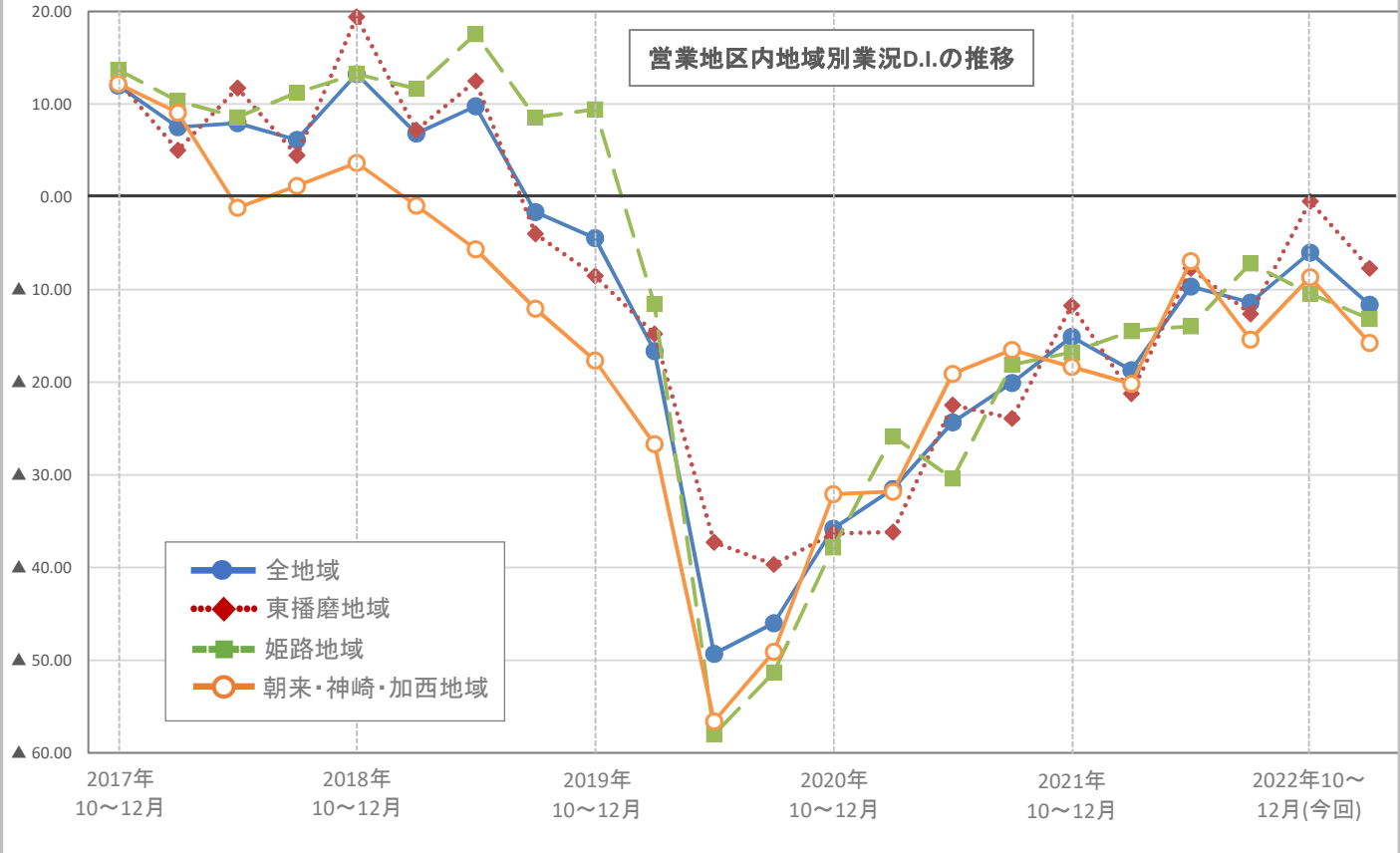
営業地区内の景気概況と主要D.I.の推移

2020年2月頃より新型コロナ感染拡大



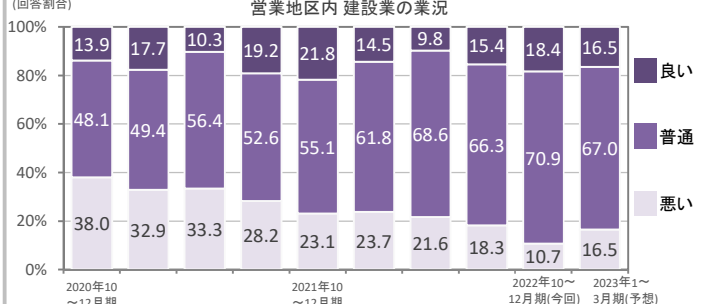
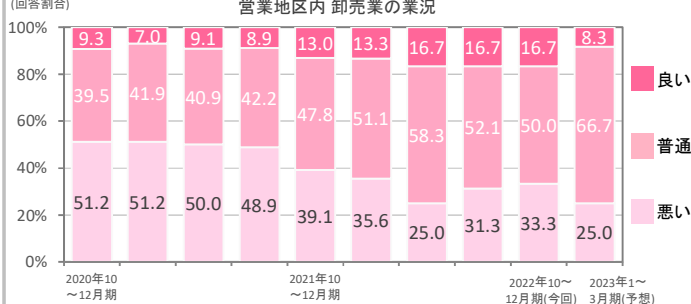
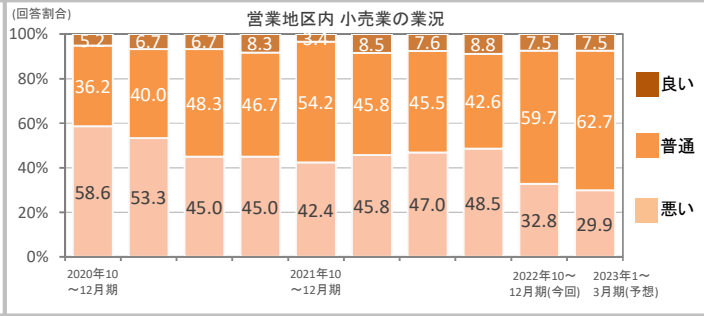
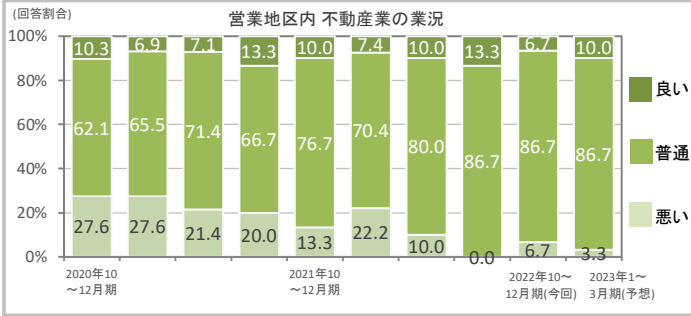
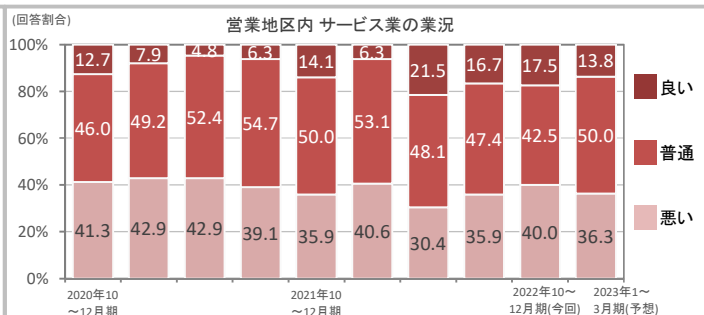
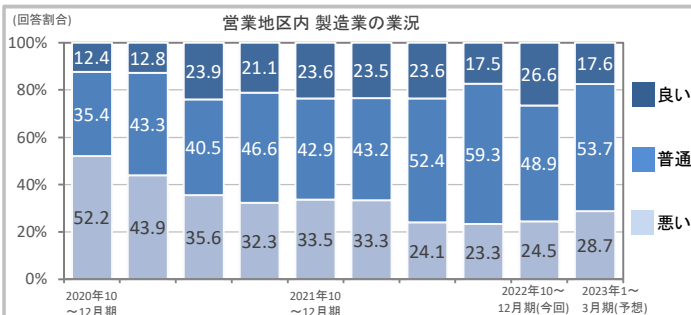
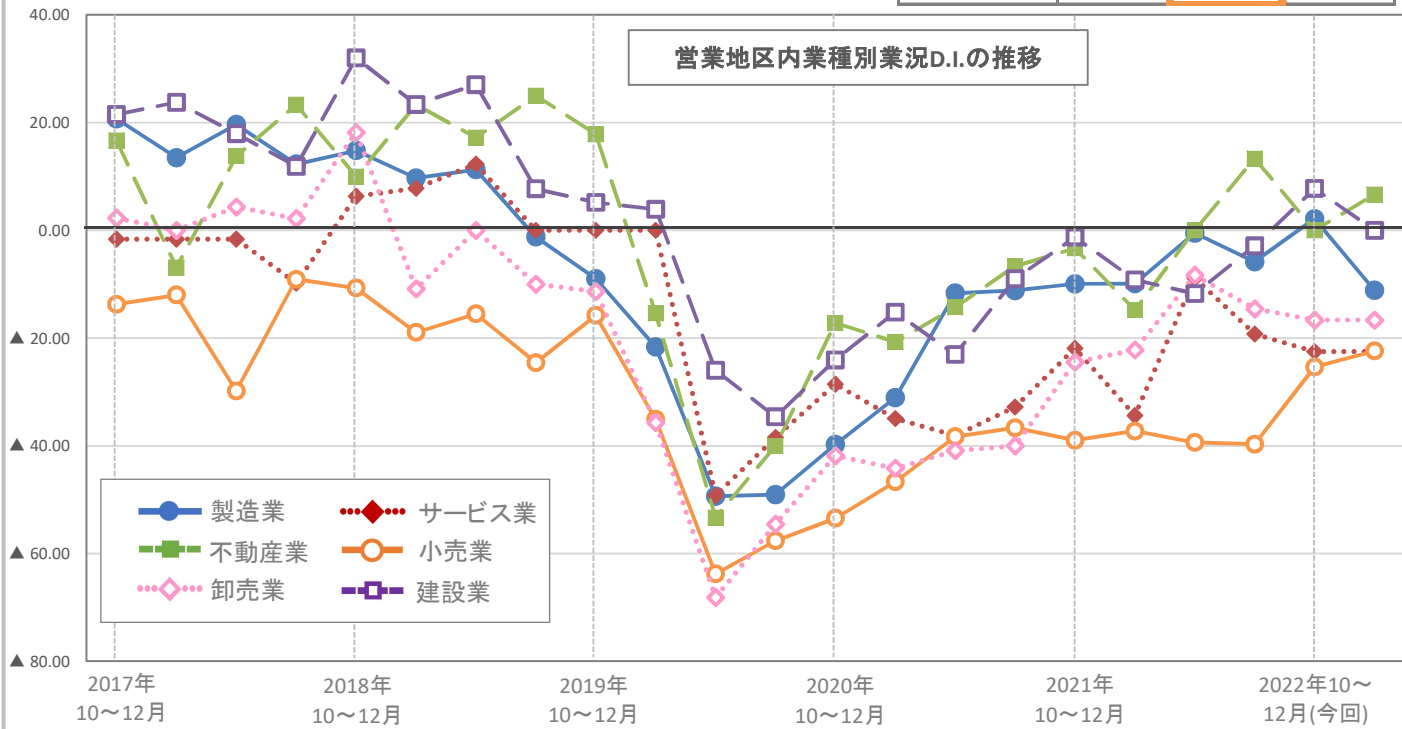
今期の地域別業況は、全地域が▲ 6.01 と前期から 5.40 ポイントの改善、東播磨地域は▲0.48 と 12.14 ポイントの改善、姫路地域が▲10.44 と 3.26 ポイントの低下、朝来・神崎・加西地域は▲8.66 と 6.72 ポイント改善しました。来期は、全地域および全ての地域別で低下する厳しい予想となっています。

| 地域 | 2022年7 ～9月期 | 2022年10 ～12月期 (今回) | 2023年1 ～3月期 (予想) |
|------------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 全地域 | ▲ 11.41 | ▲ 6.01 | ▲ 11.63 |
| 東播磨地域 | ▲ 12.62 | ▲ 0.48 | ▲ 7.73 |
| 姫路地域 | ▲ 7.18 | ▲ 10.44 | ▲ 13.19 |
| 朝来・神崎・加西地域 | ▲ 15.38 | ▲ 8.66 | ▲ 15.75 |



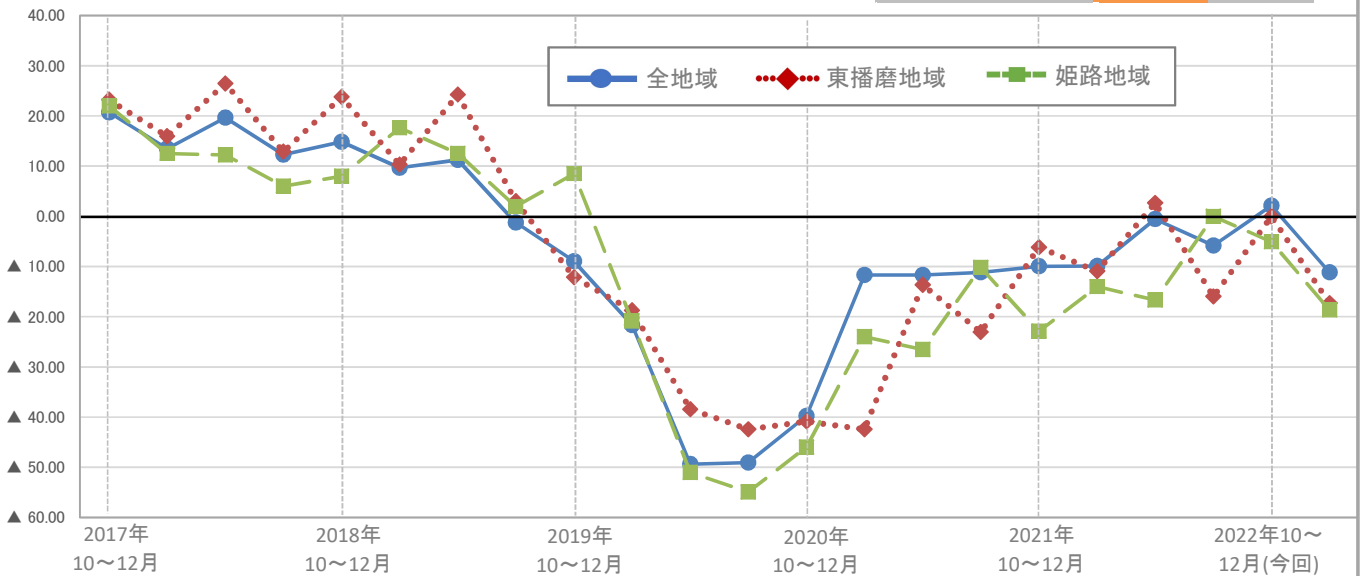
業種別では、建設業が7.77、製造業が2.13とプラス域に浮上し、それぞれ前期比10.65ポイント・7.95ポイント改善しました。また、小売業がマイナス域ながら▲25.37と14.34ポイント改善した一方で、サービス業が▲22.50と3.27ポイント低下、不動産業が0.00と13.33ポイント低下、卸売業が▲16.67と2.09ポイント低下しました。来期は、製造業・建設業が低下、サービス業・卸売業が横ばい、不動産業・小売業が改善する予想となっています。

| 業種 | 2022年7～9月期 | 2022年10～12月期(今回) | 2023年1～3月期(予想) |
|-------|------------|------------------|----------------|
| 製造業 | ▲5.82 | 2.13 | ▲11.17 |
| サービス業 | ▲19.23 | ▲22.50 | ▲22.50 |
| 不動産業 | 13.33 | 0.00 | 6.67 |
| 小売業 | ▲39.71 | ▲25.37 | ▲22.39 |
| 卸売業 | ▲14.58 | ▲16.67 | ▲16.67 |
| 建設業 | ▲2.88 | 7.77 | 0.00 |



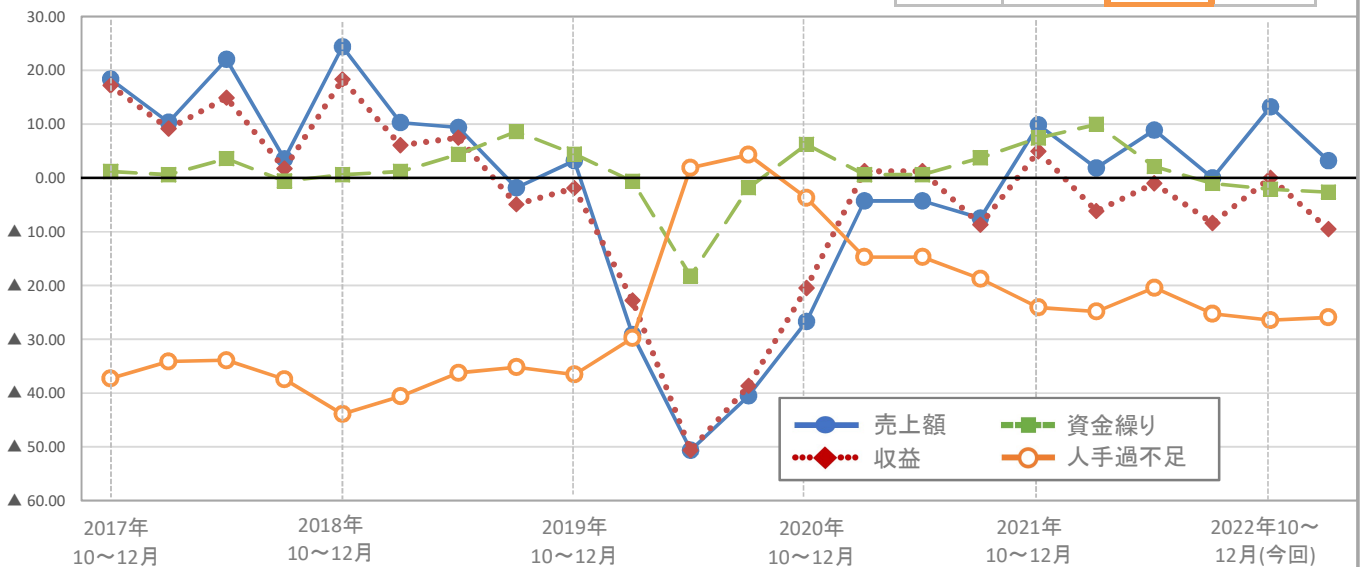
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は2.13 と、前期から 7.95 ポイント改善しています。東播磨地域は0.00 と 16.00 ポイントの改善、姫路地域は ▲5.08 と低下しています。来期は全地域および全ての地域別で低下する予想となっています。

| 地域 | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 全地域 | ▲ 5.82 | 2.13 | ▲ 11.17 |
| 東播磨地域 | ▲ 16.00 | 0.00 | ▲ 17.33 |
| 姫路地域 | 0.00 | ▲ 5.08 | ▲ 18.64 |

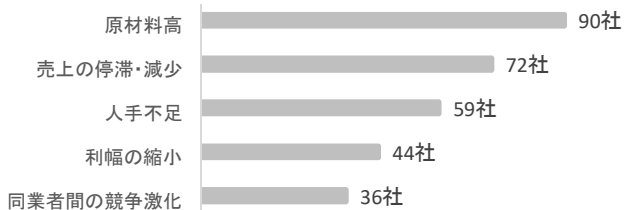


その他主要D.I. >> 今期は、売上額D.I.・収益D.I.が改善し、資金繰りD.I.・人手過不足D.I.は低下しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が低下し、人手過不足D.I.は若干改善する予想となっています。

| D.I. | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 売上額 | 0.00 | 13.23 | 3.17 |
| 収益 | ▲ 8.42 | 0.00 | ▲ 9.52 |
| 資金繰り | ▲ 1.05 | ▲ 2.12 | ▲ 2.65 |
| 人手過不足 | ▲ 25.26 | ▲ 26.46 | ▲ 25.93 |

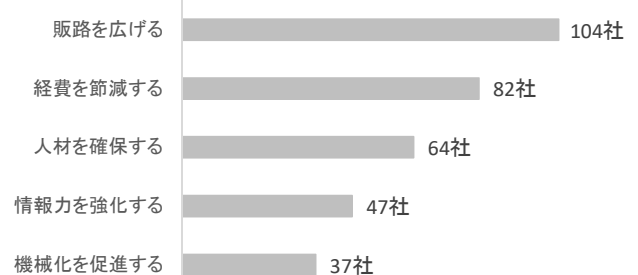


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



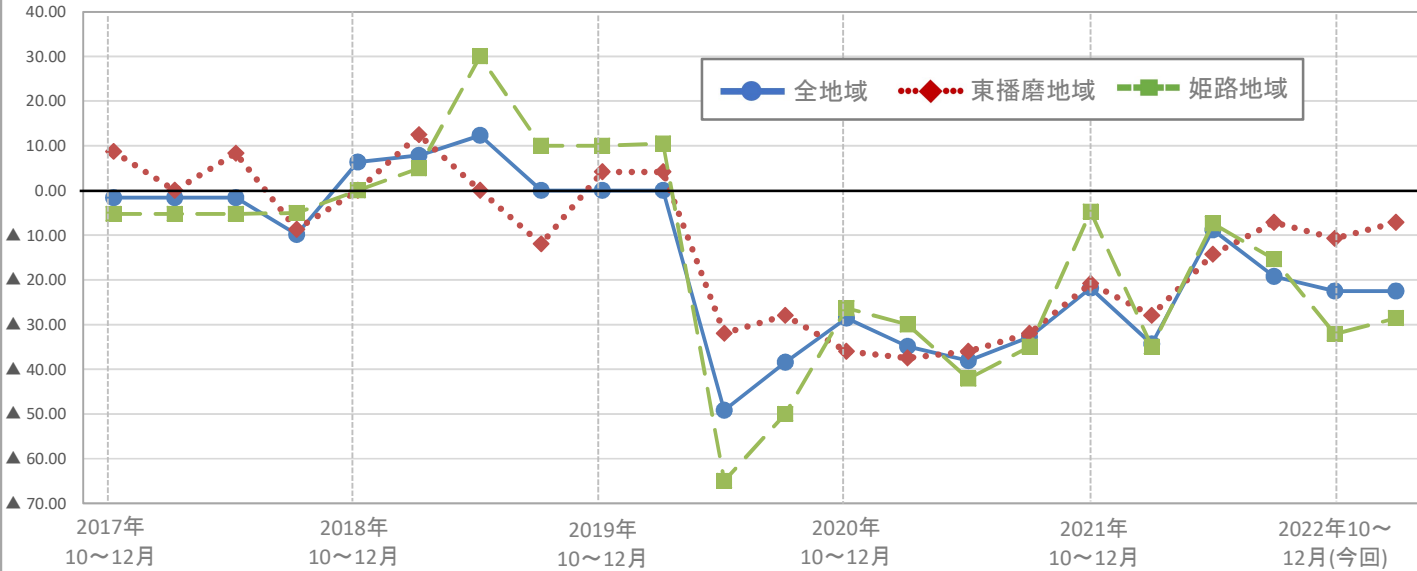
【その他の問題点】・資材調達難、半導体不足など
【人件費以外の経費の増加】・燃料費など

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



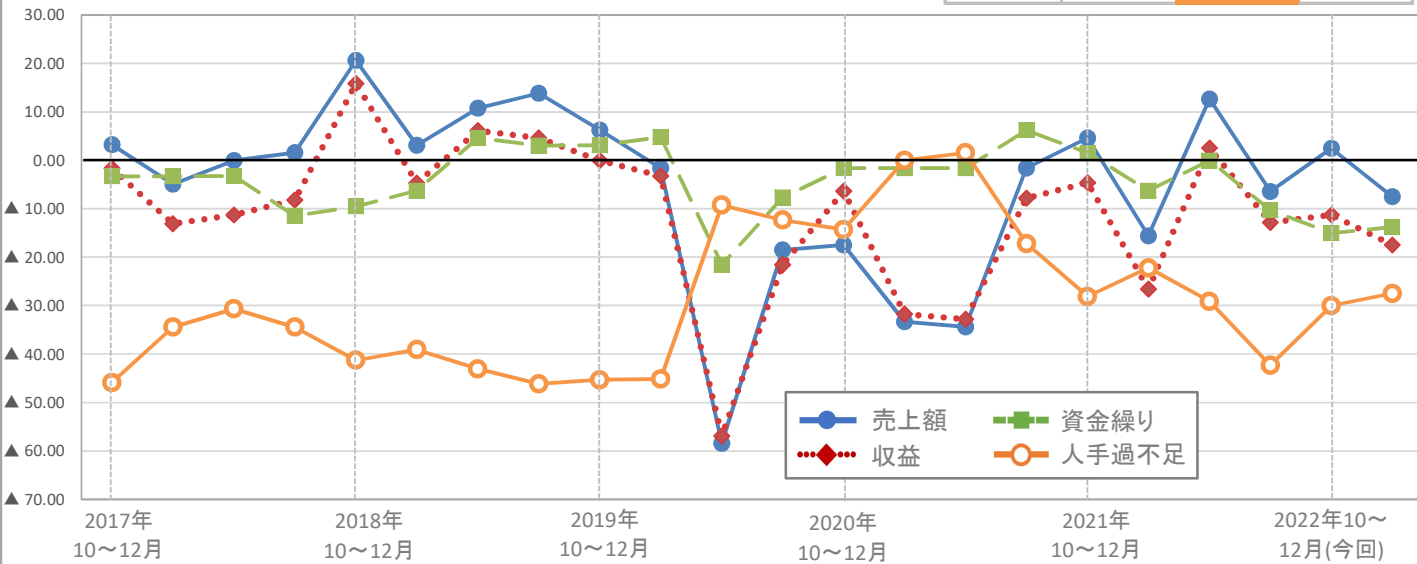
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は▲22.50 と、前期から 3.27 ポイント低下しています。東播磨地域は▲10.71 と 3.57 ポイントの低下、姫路地域は ▲32.14 と 16.76 ポイント低下するなど、全地域・地域別において厳しい実績となりました。来期は全地域で横ばい、東播磨地域・姫路地域が改善の予想となっています。

| 地域 | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 全地域 | ▲ 19.23 | ▲ 22.50 | ▲ 22.50 |
| 東播磨地域 | ▲ 7.14 | ▲ 10.71 | ▲ 7.14 |
| 姫路地域 | ▲ 15.38 | ▲ 32.14 | ▲ 28.57 |



その他主要D.I. >> 今期は、売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.で前期から改善が見られ、資金繰りD.I.は低下しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.が低下し、資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が改善する予想となっています。

| D.I. | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 売上額 | ▲ 6.41 | 2.50 | ▲ 7.50 |
| 収益 | ▲ 12.82 | ▲ 11.25 | ▲ 17.50 |
| 資金繰り | ▲ 10.26 | ▲ 15.00 | ▲ 13.75 |
| 人手過不足 | ▲ 42.31 | ▲ 30.00 | ▲ 27.50 |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

| | |
|-----------|-----|
| 売上の停滞・減少 | 31社 |
| 人手不足 | 27社 |
| 材料価格の上昇 | 25社 |
| 利幅の縮小 | 15社 |
| 同業者間の競争激化 | 14社 |

【その他の問題点】・従業員の高齢化 など

【人件費以外の経費の増加】・燃料・タイヤ など

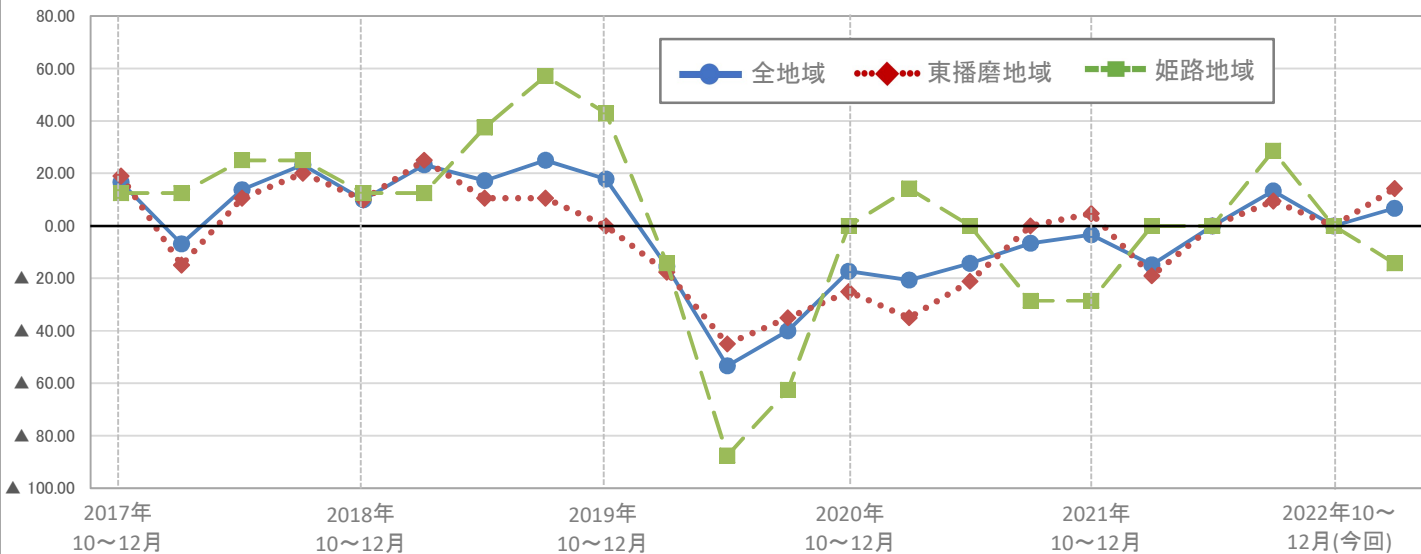
当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

| | |
|------------|-----|
| 販路を広げる | 40社 |
| 経費を節減する | 33社 |
| 人材を確保する | 29社 |
| 宣伝・広告を強化する | 17社 |
| 教育訓練を強化する | 12社 |

地域別業況D.I. >>

全地域の業況D.I.は 13.33ポイント、東播磨地域は 9.52ポイント、姫路地域は 28.57ポイントそれぞれ低下するなど、全地域・地域別において厳しい実績となりました。来期は全地域・東播磨地域で改善、姫路地域は低下する予想となっています。

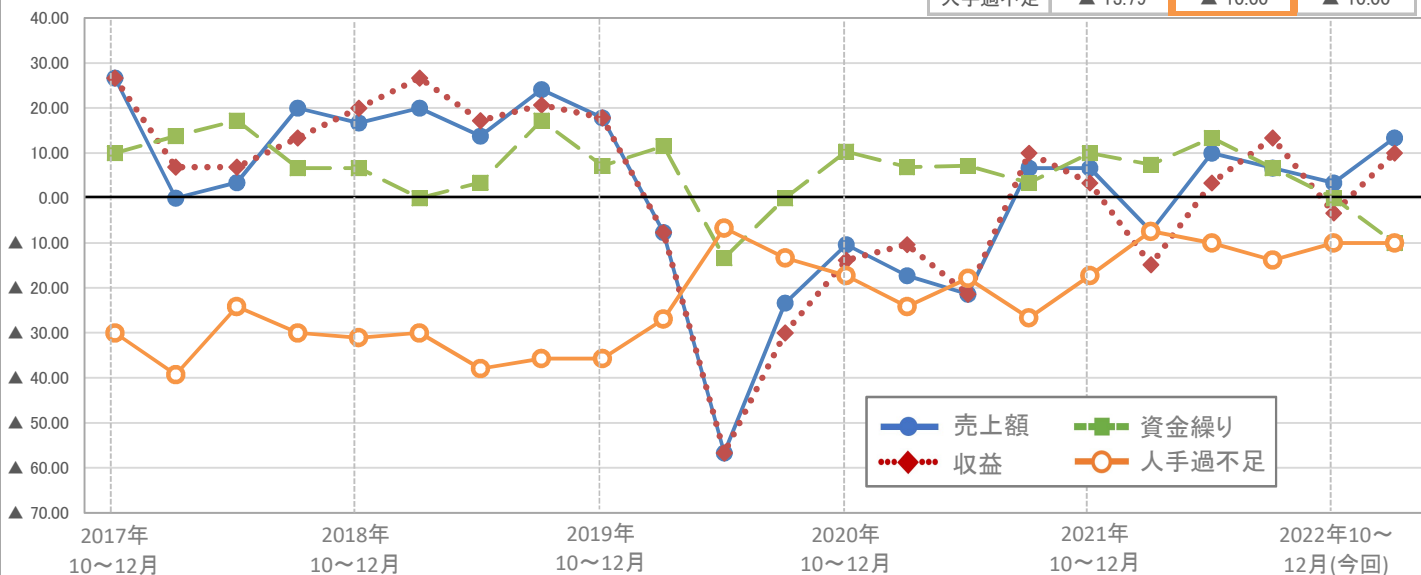
| 地域 | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 全地域 | 13.33 | 0.00 | 6.67 |
| 東播磨地域 | 9.52 | 0.00 | 14.29 |
| 姫路地域 | 28.57 | 0.00 | ▲ 14.29 |



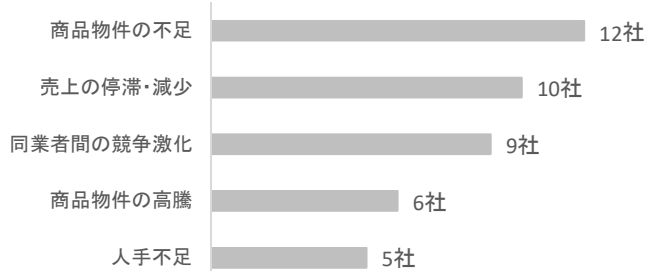
その他主要D.I. >>

売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.は前期より低下し、人手過不足D.I.が若干改善しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.が改善、資金繰りD.I.は低下、人手過不足D.I.が横ばいの予想となっています。

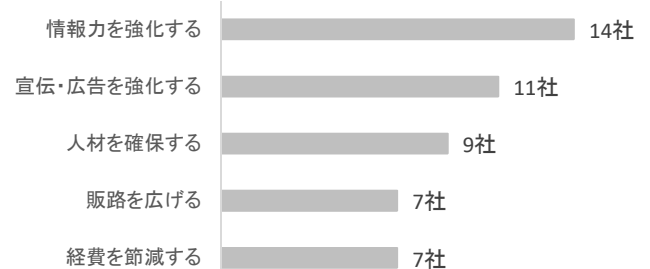
| D.I. | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 売上額 | 6.67 | 3.33 | 13.33 |
| 収益 | 13.33 | ▲ 3.33 | 10.00 |
| 資金繰り | 6.67 | 0.00 | ▲ 10.00 |
| 人手過不足 | ▲ 13.79 | ▲ 10.00 | ▲ 10.00 |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

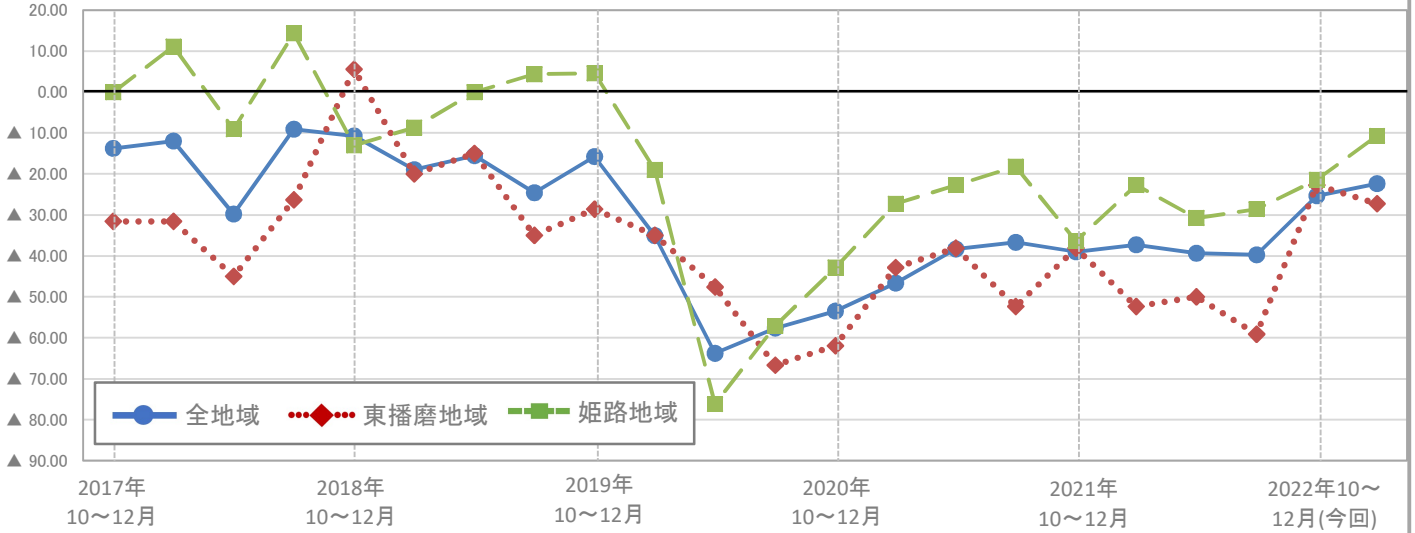


当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



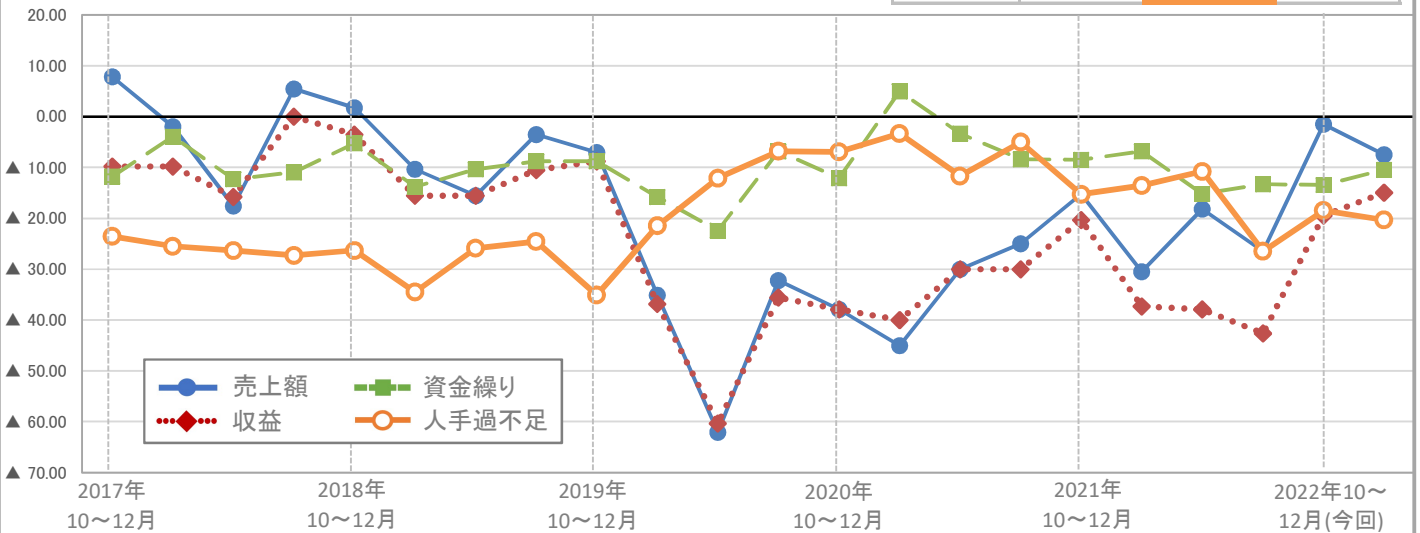
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は▲25.37 と、前期から 14.34 ポイント改善しています。東播磨地域は▲22.73 と 36.36 ポイント改善、姫路地域は▲21.43 と 7.14 ポイント改善となり、全地域・地域別で改善しています。来期は全地域・姫路地域で改善、東播磨地域は低下する予想となっています。

| 地域 | 2022年 7～9月期 | 2022年 10～12月期 (今回) | 2023年 1～3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 全地域 | ▲ 39.71 | ▲ 25.37 | ▲ 22.39 |
| 東播磨地域 | ▲ 59.09 | ▲ 22.73 | ▲ 27.27 |
| 姫路地域 | ▲ 28.57 | ▲ 21.43 | ▲ 10.71 |

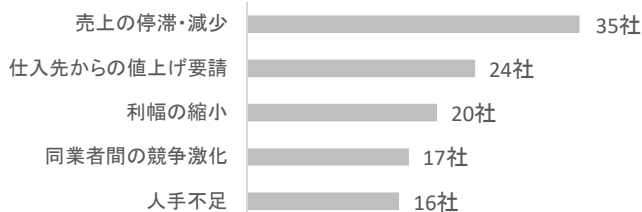


その他主要D.I. >> 売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は前期から改善し、資金繰りD.I.が若干低下しています。来期は売上額D.I.・人手過不足D.I.は低下、収益D.I.・資金繰りD.I.が改善する予想となっています。

| D.I. | 2022年 7～9月期 | 2022年 10～12月期 (今回) | 2023年 1～3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 売上額 | ▲ 26.47 | ▲ 1.49 | ▲ 7.46 |
| 収益 | ▲ 42.65 | ▲ 19.40 | ▲ 14.93 |
| 資金繰り | ▲ 13.24 | ▲ 13.43 | ▲ 10.45 |
| 人手過不足 | ▲ 26.47 | ▲ 18.46 | ▲ 20.31 |



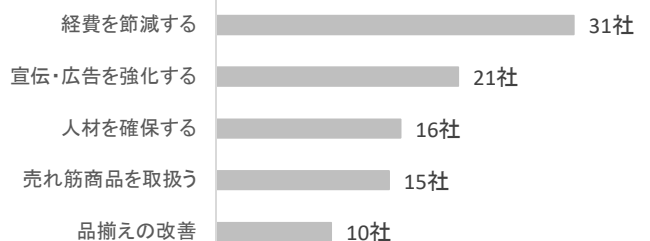
経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



【その他の問題点】・社保関係 など

設備投資の実施と予定 ・ 計量機(ガソリンスタンド)

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



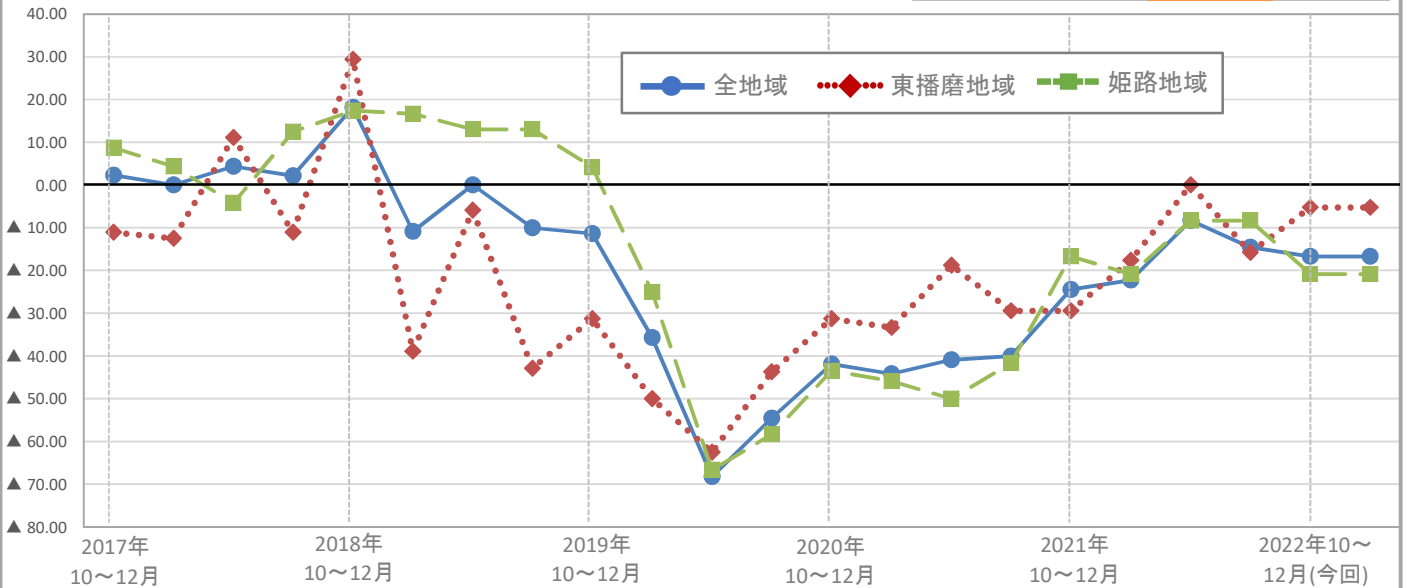
【その他の重点経営施策】・販路開拓 など

卸売業

回答企業 48社 回答率 100.0%

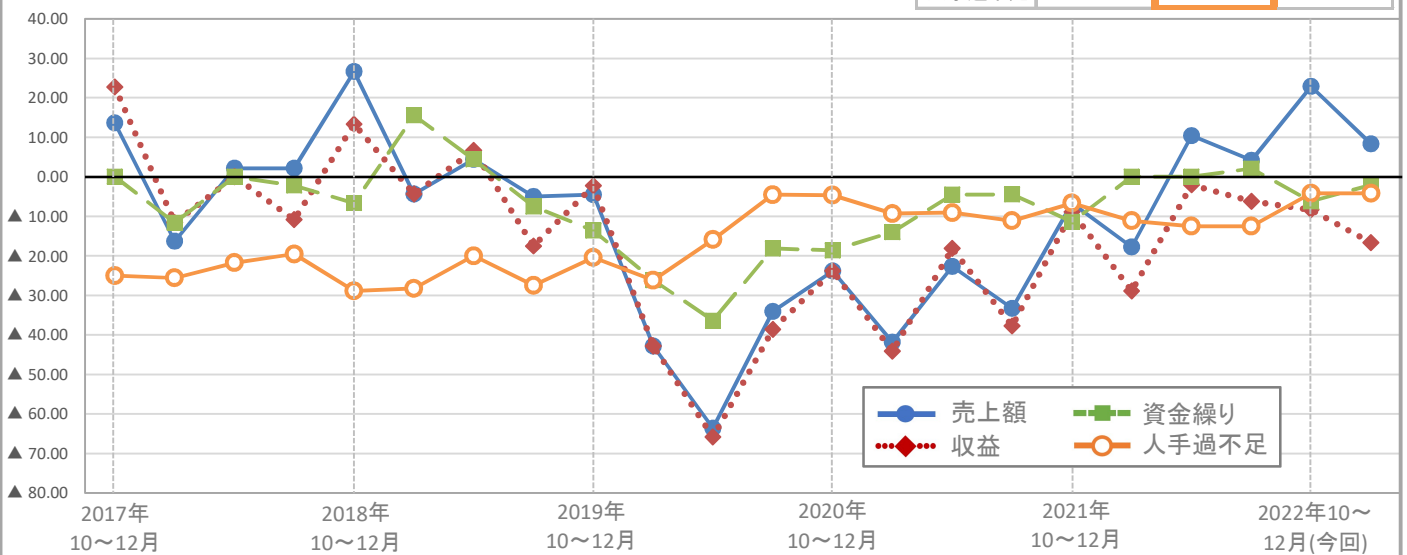
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は▲16.67 と、前期から 2.09 ポイント低下し、東播磨地域は 10.53 ポイント改善の ▲5.26、姫路地域は▲20.83 と12.50 ポイント低下しています。来期は全地域・地域別ともに横ばいの予想となっています。

| 地域 | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 全地域 | ▲ 14.58 | ▲ 16.67 | ▲ 16.67 |
| 東播磨地域 | ▲ 15.79 | ▲ 5.26 | ▲ 5.26 |
| 姫路地域 | ▲ 8.33 | ▲ 20.83 | ▲ 20.83 |

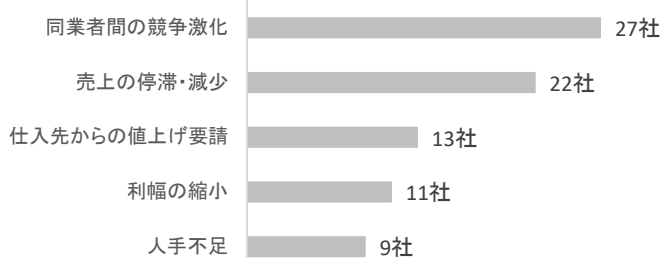


その他主要D.I. >> 売上額D.I.・人手過不足D.I.は前期から改善し、収益D.I.・資金繰りD.I.は低下しています。来期は資金繰りD.I.が改善、人手過不足D.I.は横ばい、売上額D.I.・収益D.I.が低下する予想となっています。

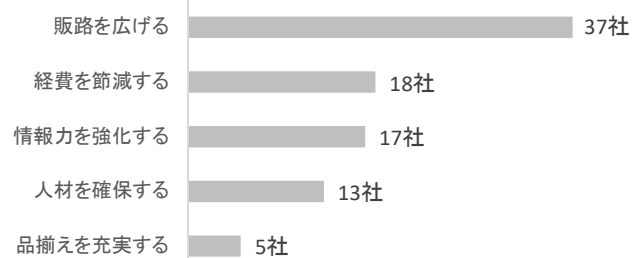
| D.I. | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 売上額 | 4.17 | 22.92 | 8.33 |
| 収益 | ▲ 6.25 | ▲ 8.33 | ▲ 16.67 |
| 資金繰り | 2.13 | ▲ 6.25 | ▲ 2.08 |
| 人手過不足 | ▲ 12.50 | ▲ 4.17 | ▲ 4.17 |



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

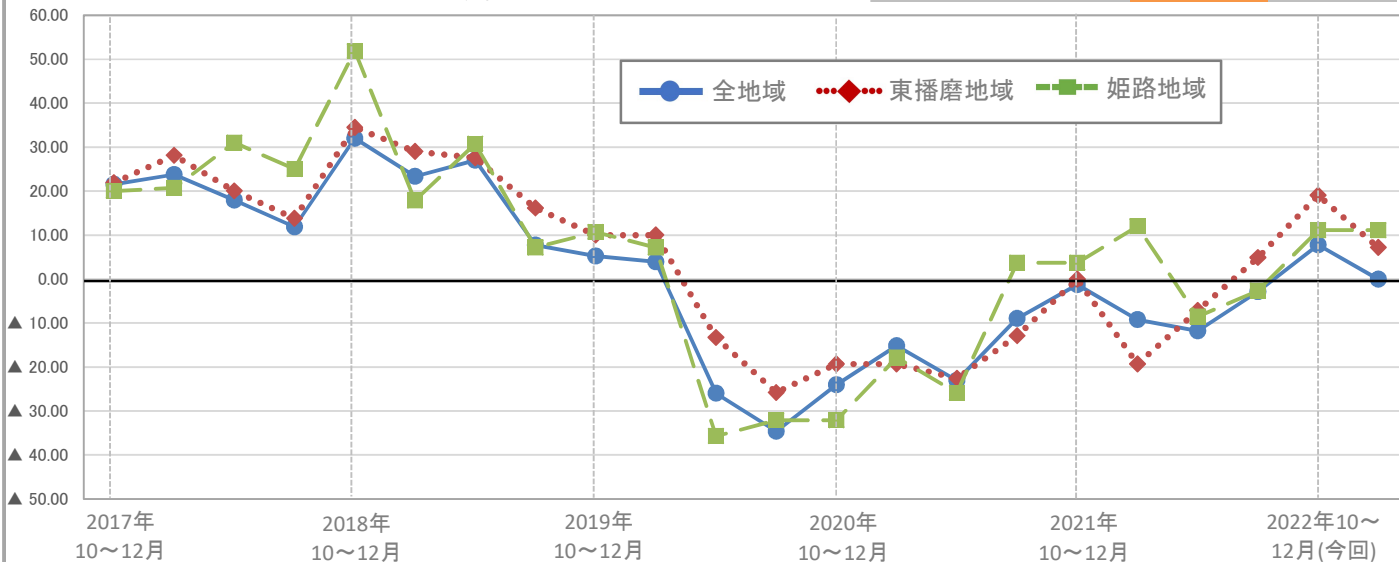


当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



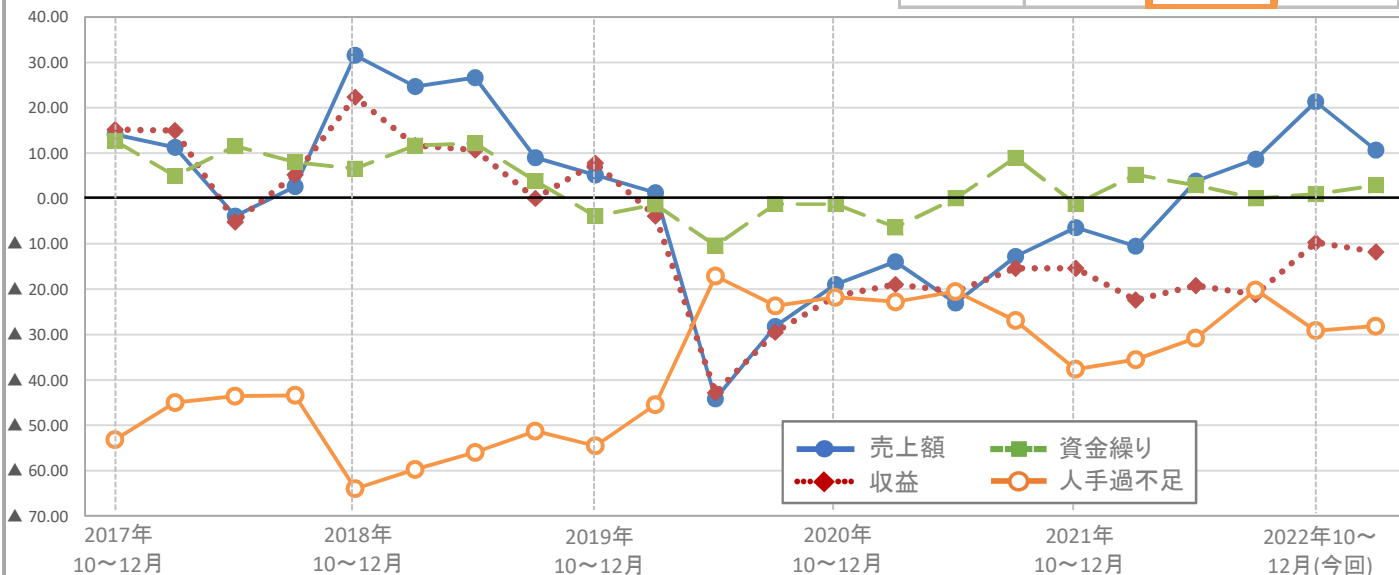
地域別業況D.I. >> 全地域の業況D.I.は7.77 と前期から 10.65 ポイントの改善、東播磨地域は 19.05 と 14.17 ポイントの改善、姫路地域が11.11 と 13.74 ポイントの改善となり、全地域・地域別で改善となりました。来期は全地域・東播磨地域が低下、姫路地域は横ばいの予想となっています。

| 地域 | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 全地域 | ▲ 2.88 | 7.77 | 0.00 |
| 東播磨地域 | 4.88 | 19.05 | 7.14 |
| 姫路地域 | ▲ 2.63 | 11.11 | 11.11 |

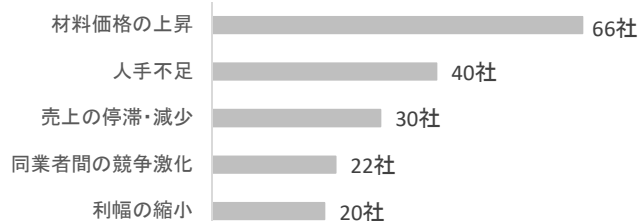


その他主要D.I. >> 売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.は前期より改善し、人手過不足D.I.が低下しています。来期は資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が改善、売上額D.I.・収益D.I.が低下する予想となっています。

| D.I. | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 (今回) | 2023年 1~3月期 (予想) |
|-------|----------------|--------------------------|------------------------|
| 売上額 | 8.65 | 21.36 | 10.68 |
| 収益 | ▲ 21.15 | ▲ 9.71 | ▲ 11.76 |
| 資金繰り | 0.00 | 0.97 | 2.91 |
| 人手過不足 | ▲ 20.19 | ▲ 29.13 | ▲ 28.16 |

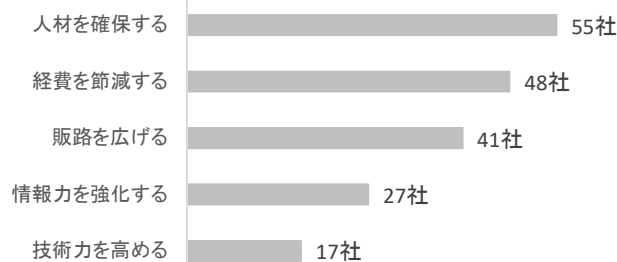


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

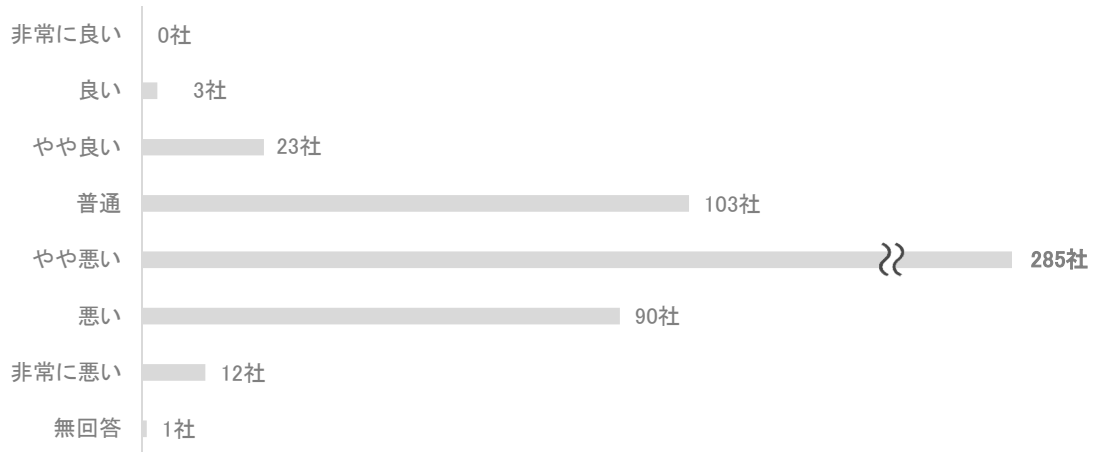


【その他の問題点】・後継者問題、燃料費 など

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



問1 2023年日本の景気の見通しについて

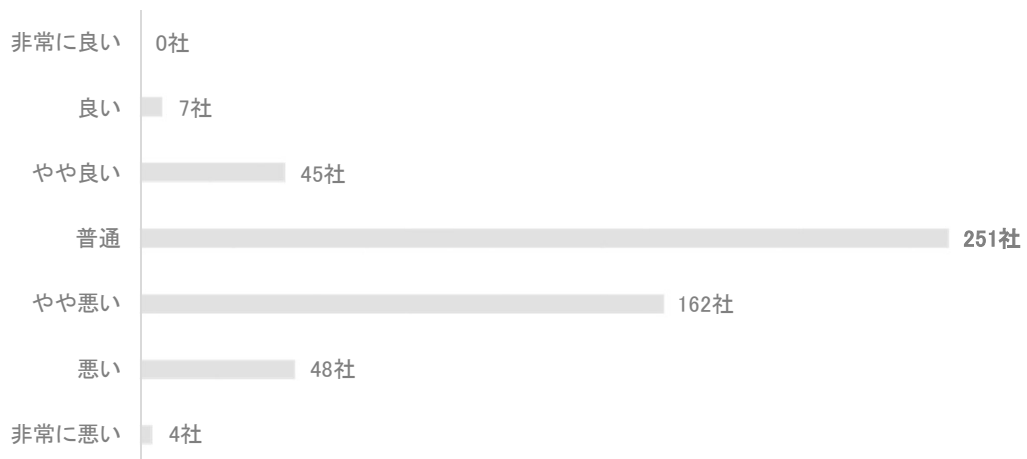


(「やや良い」・「良い」・「非常に良い」の合計 26社) - (「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計 387社)

= ▲69.96 (2023年日本の景気の見通しD.I.)

▶▶ 2023年日本の景気の見通しについて、「やや悪い」の回答が最も多く 285社となり、製造業の61.4%(116社)、建設業の54.4%(56社)、サービス業の51.3%(41社)、小売業の50.7%(34社)、卸売業52.1%(25社)、不動産業の43.3%(13社)が回答しています。次いで103社が「普通」、90社が「悪い」と回答しています。

問2 2023年の自社の業況(景気)の見通しについて

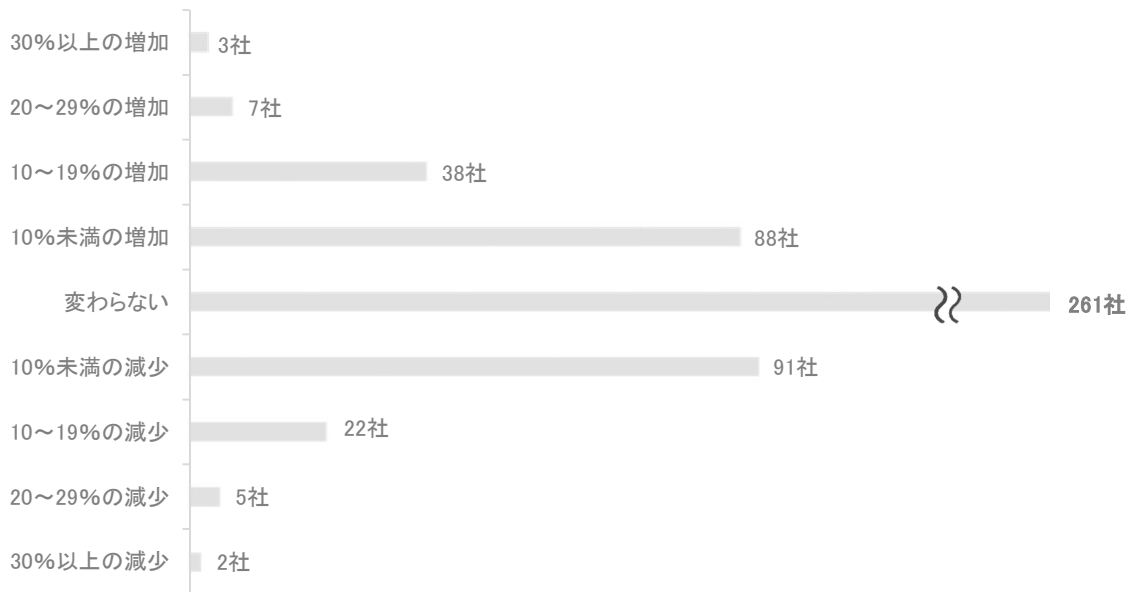


(「やや良い」・「良い」・「非常に良い」の合計52社) - (「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計214社)

= ▲31.33 (2023年自社の業況(景気)の見通しD.I.)

▶▶ 2023年の自社の業況(景気)の見通しについて、「普通」の回答が最も多く 251社となり、製造業の47.1%(89社)、建設業の50.5%(52社)、小売業の47.8%(32社)、サービス業の36.3%(29社)、卸売業58.3%(28社)、不動産業の70.0%(21社)が回答しています。次いで162社が「やや悪い」、48社が「悪い」と回答しています。

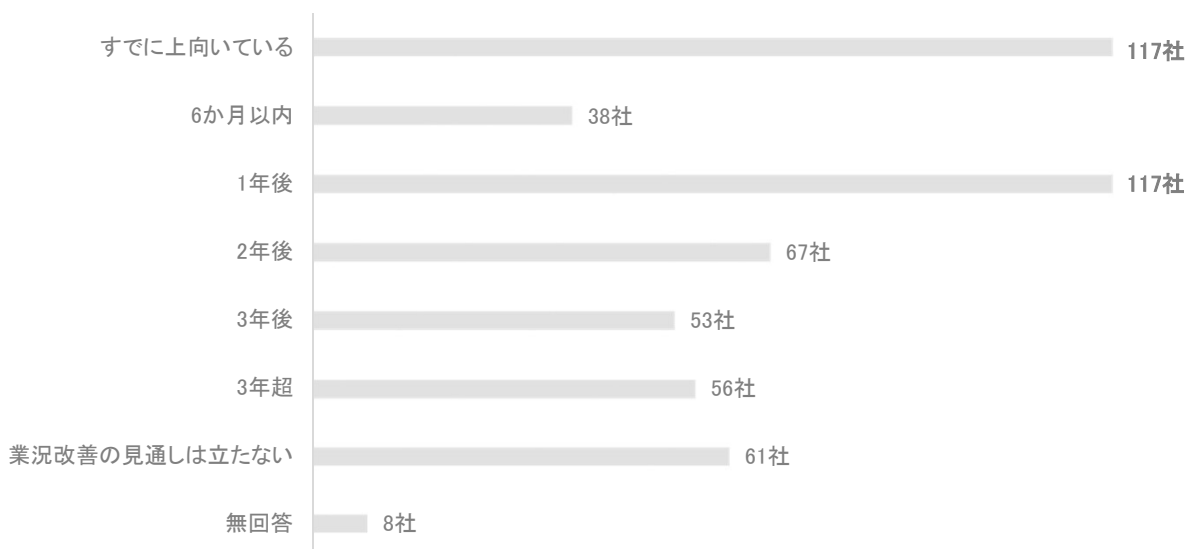
問3 2022年と比較した2023年の自社売上額の伸び率について



(「10%未満~29%増加、30%以上の増加」の合計136社) - (「10%未満~29%減少、30%以上の減少」の合計120社)
= 3.10 (2022年と比較した2023年の自社売上額の伸び率D.I.)

» 2022年と比較した2023年の自社売上額の伸び率について、「変わらない」の回答が最も多く 261社となり、製造業の46.0%(87社)、建設業の50.5%(52社)、小売業の55.2%(37社)、サービス業の52.5%(42社)、卸売業47.9%(23社)、不動産業の76.7%(20社)が回答しています。次いで91社が「10%未満の減少」、88社が「10%未満の増加」と回答しています。

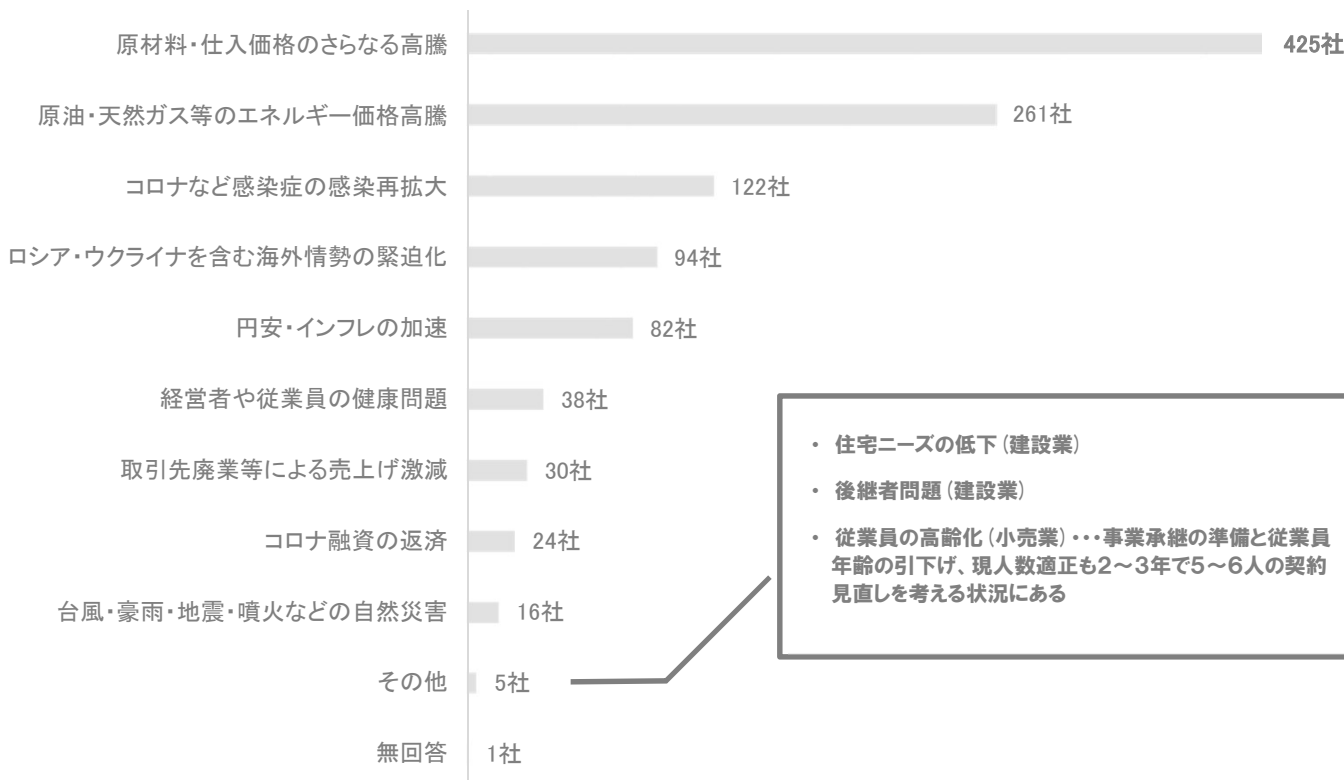
問4 自社の業況が上向く転換点について



» 自社の業況が上向く転換点について、「すでに上向いている」と「1年後」の回答が同数で最も多く 117社、次いで 67社が「2年後」、61社が「業況改善の見通しは立たない」と回答しています。また、「すでに上向いている」・「6か月以内」・「1年後」とした回答の合計が53.4%(272社)となり、過半数が1年以内に業況が上向くと予想しています。

問5

2023年の事業環境を展望したときの経営リスクについて(複数回答最大3つ)



2023年の事業環境を展望したときの経営リスクについては、「原材料・仕入価格のさらなる高騰」の回答が最も多く425社(複数回答最大3つ)となり、製造業の90.5%(171社)、建設業の86.4%(89社)、小売業の77.6%(52社)、サービス業の63.8%(51社)、卸売業93.8%(45社)、不動産業の56.7%(17社)が回答しています。次いで261社が「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」、122社が「コロナなど感染症の感染再拡大」と回答しています。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。投資等についてはご自身の判断によってください。
 ※ 本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫がその正確性および完全性を保証するものではありません。



“よろず相談所”
但陽信用金庫

<https://www.tanyo-shinkin.co.jp>

本店 加古川市加古川町溝之口 772
 生野本部 朝来市生野町口銀谷 511

TEL (079) - 422-7721
 TEL (079) - 679-2253

0120-200-707

